

saveMLAKのCOVID-19の 影響による図書館動向調査

——2021年を振り返って

図書館問題研究会千葉支部

子安 伸枝

こやすのぶえ

saveMLAKでは、2020年4月からCOVID-19の影響による図書館動向調査を行っている。株式会社カーリルが実施した調査を引き継ぎ、全国の公立図書館・読書施設（以下、「公立図書館等」）の開館・休館状況を調査してきた。2022年3月までに27回の調査を重ねている。

この調査の第12回までの結果を、2021年2月、第47回研究集会で報告した。その続報として、第48回研究集会では第13回から26回調査の調査結果から休館率や入館記録を取る図書館の数の推移等について紹介するライトニングトークを行った。

2020年5月には90%以上の図書館が休館したが、2021年は緊急事態宣言下でも公立図書館等の休館率は20%程度となり、2021年11月には全ての図書館・読書施設が開館した。また、入館記録については2022年1月末の調査時点で261館が実施しており、これは調査対象1,737館の約15%にあたる。

1. saveMLAKとは?	73
2. 休館調査の目的	74
3. 調査方法	74
4. 調査項目	74
5. 実施状況	74
6. 付帯調査	74
7. 調査結果から	75
7.1. 休館率の推移	75
7.2. 入館記録の推移	76
8. 調査に参加して	76

1. saveMLAKとは?

saveMLAKは2011年の東日本大震災を機に発足したプロジェクトで、だれでも参加することができる。災害で被災したMLAK（美術館・博物館、図書館、公文書館、公民館）の情報を集約し、ウェブサイトでの公開を行っている¹⁾。

新型コロナウイルス感染症（以下、「COVID-19」）への対応は2020年4月から開始した²⁾。

COVID-19の影響による図書館動向調査（以下、「休館調査」）については、株式会社カーリルが2020年4月7・8日に実施した調査を引き継ぎ、2020年4月15日から調査を開始した³⁾。saveMLAKのウェブサイトには公立図書館等の休館調査結果だけでなく、国立大学図書館、公立大学図書館、専門図書館の調査結果も集約されている⁵⁾。どの館種もそれぞれ有志が調査を行っている。また、COVID-19

に関してはMLAKの特徴的な取り組みをまとめたベストプラクティス共有のページも作成し、ドキュメント志向の記録を残すことにも取り組んでいる。

本稿ではこれらの取組のなかで、公立図書館等の休館調査結果に絞って報告する。本稿の作成にあたっては、クリエイティブ・コモンズライセンスCC0⁶⁾で公表されているsaveMLAKの26回に渡る調査結果を活用した。

2. 休館調査の目的

全国の公立図書館・読書施設の現在の状況をスナップショットとして取りたい、記録として残したいという動機からスタートした。その時点での図書館の現状を把握し、結果的にCOVID-19流行期の一定時点を輪切りのようにアーカイブする取り組みとなった。⁷⁾

3. 調査方法

休館調査では、全国の自治体の図書館・読書施設等の中央館の動向を調査した。ウェブサイトの情報を調査者が「目視」して調査している。

休館かどうかの判断は、開架エリアへの利用者の進入を許可しているかどうかを目安とした。

調査主体は有志で、だれでも参加することができる。調査者は各調査回ごとに違うが、Covid-19 Libdata チームとして調査を行っている。

調査結果はGoogle スプレッドシートに集約し、同時並行で複数人が編集できるようになっている。

調査のエビデンスとして、目視したウェブ

サイトをWaybackMachineやArchive Todayのウェブアーカイブサービスに保存することも同時に行った。

調査者同士の情報共有はCode4Lib JapanのSlackに調査用のチャンネルを設定してもらってそこに投稿する形で行った。プレスリリースなどのミーティングはオンラインミーティングアプリのZoomを活用した。調査の打ち合わせからプレスリリースまで、完全にオンラインで実施している。

4. 調査項目

基本的な調査項目は下記のとおりである。

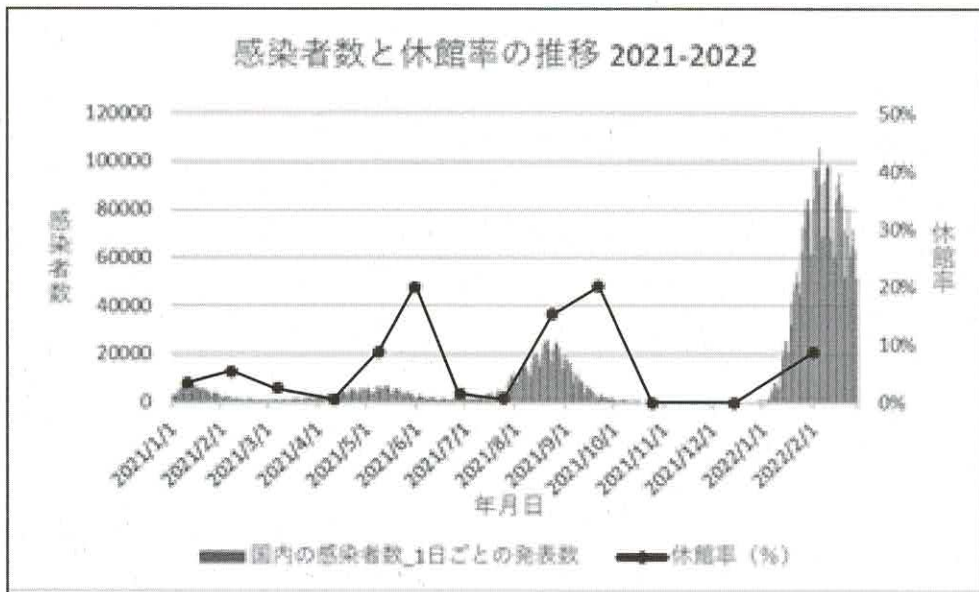
- ・休館開始日
- ・休館終了日
- ・ウェブサイトは見られるか
- ・蔵書検索はできるか
- ・入館記録（○または×）
- ・開館状況（○または×）
- ・休館理由（第10回から追加）

調査結果は毎回プレスリリースにまとめ、saveMLAKのウェブサイトに掲載している。また、調査データはCC0のライセンスで公開し、誰でも利用可能としている。

5. 実施状況

2021年1月から2022年2月までに13回（第13から26回）の調査を実施した。休館状況と入館記録にフォーカスして調査を継続中である。また、各回の調査の中で調査者が気がついた特徴的な取り組みを毎回のプレスリリースで紹介している。

6. 付帯調査



《図1 1日あたりの感染者数と休館率の推移》

2021年4月からは休館調査の他に付帯調査を実施するようになった。これは非来館サービスとしてSNSをどれくらい活用しているのかを可視化するために実施した。個人的には災害等で図書館のウェブサイトが機能しない場合、SNSがウェブサイトの代わりに図書館の情報伝達の媒体となりうるという点でもその活用に注目していた。2021年4月の第17回調査でTwitter⁸⁾を、2021年5月の第18回調査でFacebook⁹⁾を、2021年6月の第20回調査でYouTube¹⁰⁾を調査した。Instagramについては2021年8月の第22回調査で実施した。また、SNSではないが、Wi-Fiの導入状況調査も2022年1月の第26回調査の付帯調査として実施した¹²⁾。Wi-Fiについては山口真也氏（沖縄国際大学）の第47回研究会での発表「コロナ禍でのホームレスの公共図書館利用に関する私的レポート～支援ボランティアとしての交流をもとに～」¹³⁾の中でWi-Fiの提供について言及があり、災害時に情報にア

クセスする手段としてもWi-Fiの重要性を感じたことから、付帯調査として実施した。付帯調査の詳細は別稿で今井つかさ氏から報告があるので割愛する。

7. 調査結果から

休館調査から主な指標として休館率と入館記録の状況を紹介する。

7.1. 休館率の推移

図1は1日あたりの感染者数と調査時点の休館率をまとめたものである¹⁴⁾。90%以上の図書館が休館した2020年5月に比べると、2021年の休館率のピークは2回あるが、19.8%、20.1%にとどまった。2021年に入ってから感染者数は2020年を上回るが、休館の措置は取らず、閉館時間を短縮する、サービスを制限するといった措置を取って開館を続けていた。



《図2 入館記録の推移》

7.2. 入館記録の推移

図2は2020年第2回から2022年2月の第26回調査までの入館記録の推移である。

入館記録は2020年9月時点の395館22.7%から僅かずつだが減少し、2022年1月の第26回調査では261館15%となっている。

8. 調査に参加して

数値的な指標としては、休館率と入館記録を取り上げた。2021年の特徴的な動きとして、プレスリリースで取り上げた事例についても述べる。

2021年を通じて、電子書籍サービスを導入する自治体が見られた。¹⁵⁾ また、数は多くないが、オンラインイベントの開催や自動貸出機の導入など、非接触でのサービス提供に切り替える図書館が見られた。対面朗読は制限されたが、オンラインにより対面朗読を提供する館もある。¹⁶⁾

2022年1月の調査では、BCPに基づく休館や他部署への職員派遣による休館をする自治体が見られた。¹⁷⁾ COVID-19対策の長期化や

患者数の増加の影響と考えられる。

原稿作成時においてもまだ1日の感染者数は4万人超という状況だが、まん延防止等重点措置は解除され、¹⁸⁾ 社会生活は通常に戻りつつある。引き続き、今後の公立図書館等の動向に注視していきたい。

末尾になりましたが、この調査に参加してくださっている saveMLAK Covid-19 libdata チームのメンバーに心より感謝申し上げます。

この記事はクリエイティブコモンズライセンス CC-BY にて公開します。データ部分は saveMLAK のライセンス表示に基づき、CC-0 で公表します。

【参考文献】

- 1) saveMLAK. “saveMLAK について”. saveMLAK. 2022.03.21
<https://savemlak.jp/wiki/saveMLAK:saveMLAK%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6> (参照 2022.03.28)
- 2) saveMLAK. “COVID-19 対応特別 saveMLAK Meet Up 概要 (2020-04-12)”. saveMLAK. 2020.04.14
<https://savemlak.jp/wiki/Event/20200412> (参照 2022.

- 03.28)
- 3) カーリル. “COVID-19：多くの図書館が閉館しています”. カーリルのブログ：2020.04.09
<https://blog.caill.jp/2020/04/stay-at-home.html> (参照 2022.03.28)
 - 4) saveMLAK. “COVID-19 の影響による図書館の動向調査 (2020.04.16) について”. saveMLAK. 2020.04.19
<https://savemlak.jp/wiki/saveMLAK:%E3%83%97%E3%83%AC%E3%82%B9/20200417> (参照 2022.03.28)
 - 5) saveMLAK. “covid-19-survey”. saveMLAK. 2022.03.27
<https://savemlak.jp/wiki/covid-19-survey> (参照 2022.03.28)
 - 6) クリエイティブ・コモンズ・ジャパン. “CC0 について—— ‘いかなる権利も保有しない’ クリエイティブ・コモンズ・ジャパン”. クリエイティブ・コモンズ・ジャパン. 2017.11.22
<https://creativecommons.jp/sciencecommons/aboutcc0/> (参照 2022.03.28)
 - 7) 国立国会図書館. “E2283- 現在 (いま) をアーカイブする：COVID-19 図書館動向調査 カレントアウェアネス・ポータル”. カレントアウェアネス・ポータル. 2020.07.30
<https://current.ndl.go.jp/e2283> (参照 2022.03.28)
 - 8) saveMLAK. “公共図書館での SNS 活用状況の調査 (Twitter 編)”. saveMLAK
<https://savemlak.jp/wiki/saveMLAK:%E3%83%97%E3%83%AC%E3%82%B9/20210411SNS> (参照 2022.03.29)
 - 9) saveMLAK. “公共図書館での SNS 活用状況の調査 (Facebook 編)”. saveMLAK
<https://savemlak.jp/wiki/saveMLAK:%E3%83%97%E3%83%AC%E3%82%B9/20210510SNS> (参照 2022-03-29)
 - 10) saveMLAK. “公共図書館での SNS 活用状況の調査 (YouTube 編)”. saveMLAK
<https://savemlak.jp/wiki/saveMLAK:%E3%83%97%E3%83%AC%E3%82%B9/20210721SNS>, (参照 2022-03-29)
 - 11) saveMLAK. “公共図書館での SNS 活用状況の調査 (Instagram 編)”. saveMLAK
<https://savemlak.jp/wiki/saveMLAK:%E3%83%97%E3%83%AC%E3%82%B9/20210901SNS> (参照 2022-03-29)
 - 12) saveMLAK. “COVID-19 の影響による図書館の動向調査 (2022/02/01) について”. saveMLAK. 2022.02.19
<https://savemlak.jp/wiki/saveMLAK:%E3%83%97%E3%83%AC%E3%82%B9/20220204> (参照 2022.03.28)
 - 13) 山口真也. 特集 第 47 回研究集会編：コロナ禍でのホームレスの公共図書館利用に関する私的レポート：支援ボランティアとしての交流をもとに, 図書館評論 =The library review. 2021, (62), pp.17-28
 - 14) 1 日ごとの感染者数については NHK NEWS WEB 新型コロナウイルス特設サイトのデータを元にした。
 - 15) 一般社団法人電子出版制作・流通協議会. “電子図書館 (電子書籍貸出サービス) 実施図書館 (2022 年 01 月 01 日)”. 一般社団法人電子出版制作・流通協議会. 2022.01.01
https://aebs.or.jp/Electronic_library_introduction_record.html (参照 2022.03.29)
 - 16) 例えば, 第 13 回調査プレスリリースの事例など。
 saveMLAK. “COVID-19 の影響による図書館の動向調査 (2021.01.11) について”. saveMLAK
<https://savemlak.jp/wiki/saveMLAK:%E3%83%97%E3%83%AC%E3%82%B9/20210111> (参照 2022.03.29)
 - 17) saveMLAK. “COVID-19 の影響による図書館の動向調査 (2022.02.01) について”. saveMLAK
<https://savemlak.jp/wiki/saveMLAK:%E3%83%97%E3%83%AC%E3%82%B9/20220204> (参照 2022.03.29)
 - 18) 内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室. “基本的対処方針に基づく対応 | 内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室”. 内閣官房新型コロナウイルス等感染症対策推進室
<http://http://archive.today/2022.03.28-141940/https://corona.go.jp/emergency/> (参照 2022.03.28)